

お金に色はないけれど…

女性の投資熱が高まっています。株式や不動産での資産運用で将来に備えようと、若いうちから真剣に考える女性が増えています。例えば投資の目的を明確にして、その為の目標を立て、家計管理の方法、投資する株式や不動産の選び方など、20〜30代の女性が熱心に学び、こうした教室が人気ようです。

また近年、インターネットのモバイル化が顕著で、特に30代以下の女性ではスマートフォンだけでネットを利用する層が増加していますが、この変化を受けてネットバンクのスマホ対応

こうした中で相続税の改正により、子や孫への生前贈与などを促す金融商品・預金・株式・国債や社債・投資信託など(2)に資金が集まっています。最大手の信託銀行では信託商品(資金を信託財産として預ける金融商品の契約金額が1兆円に達し、このうち約750億円が家計の消費に回ったようです。約1,700兆円にのぼる日本の家計の金融資産は、60代以上が全体の6割を占めていますが、消費が活発な若年層への資産の移転がこれからの課題だと言われています。

いずれにしても、資産形成には「投資」と「貯蓄」のバランスが重要で、どちらか一方



備えあれば憂いなし!

お金の話

資産形成では短期、中期、長期に区分して、それぞれの目的に合った商品を選び、投資と貯蓄のバランスに注意が必要です。

応(スマホバンキング)を進める銀行が多くなりました。まさにスマホバンキングは、日本人の金融行動を大きく変化させる可能性を秘めています。



①「流動性」を重視する短期
資金：食費や住居費など、日々使うお金

②「安全性」を重視する中期
資金：子どもの教育資金や近々使う予定のお金

③「収益性」を重視する長期
資金：老後など、将来に備えるためのお金

投資と貯蓄のバランスに注意し、自身の将来設計を再確認して目的に沿った資産運用を心がけて頂きたいものです。

に偏ると、リスクとリターンが不安定な資金配分になり、将来設計の実現も怪しくなりかねません。

お金に色はないと言いますが、お金の性質は大きく3つに分けられます。



【教えてくれた人】
税理士・
ファイナンシャルプランナー
岡田 浩介さん

税務や会計から経営サポート業務と幅広く活動し、著書に「あなたの会社の航海マップ」などがある。

飲食店の利益を生み出す
専門スキルを持っています。



一般社団法人
日本フードアドバイザー協会公認
飲食店サポートクラブ広島支部

岡田浩介税理士事務所
株式会社 セカンドエース経営
〒720-0812 福山市霞町四丁目4番13号

TEL.084-921-8531

相続・節税等 個人のお客様もご相談ください。

岡田浩介税理士事務所



カフェ経営・2年目 Tさん(29歳)

毎年の申告から経営管理まで
すべておまかせ。
お店も軌道にのってきました。



できた時間は新メニューを
考えることにあてています。
お店のことに集中できて助かります。

やるからには利益も出したい
と思い、オープン前から相談に
乗ってもらっています。お店も2
年目に入り、おかげさまで軌道
にのってきたと実感しています。

